科目名	情報通信ネットワーク論(情報通信ネットワーク論 I) Computer and Communication Network Systems (I)										
科目担当者	川島	川島 秀樹 KAWASHIMA Hideki									
単位数	2	配当年	三次	2年	授業	形態	講義/実習	開講学期		前期	
履修学部・学科 [区分] 他学部他学科履修		学部・紹 部他学科		[専門教育	 育科目	専門科目	1]	ディプロマン ーとの関連	ポリシ	(3)(4)	
授業の概要	ネッ 本講 学習	インターネットを始め、現在はネットワークを前提としてコンピュータが利用されている。 ネットワーク を 構築するに は、ネットワーク 技術の基礎知識が要求される。 本講義ではコンピュータ・ ネットワーク の基本となるプロトコル (決まりごと) について 学習し、どのようにして通信が行われているのかを理解する。 そして、実際のネットワー ク構築に役立てられるように基本的な実習を行う。									
授業の到達目標	3										
授業計画・内容	3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14	2 ネットワークの全体像、ネットワーク方式、通信プロトコル 3 ネットワーク接続機器 4 LAN と WAN、通信の階層化、OSI 参照モデル、ポート番号 5 インターネットの仕組み、IPアドレス、I Pアドレスのクラス、サブネットマスク、DNS 6 プライベート IPアドレス vs グローバル IPアドレス、ルーティング 7 MAC アドレス、イーサネット規格、Web サービス・Web アプリについて、電子メール 8 ネットワーク管理とインターネットの応用 9 情報セキュリティと情報セキュリティ管理、脅威とマルウェア 10 サイバー攻撃、暗号技術、認証技術、ネットワークセキュリティ 11 無料レンタルサーバーについて、テキストエディター 12 Webページ、HTML 作成概要 13 HTML 作成見出し、箇条書き、リスト、段落、改行 14 ホームページ CSS 作成、ホームページ発表									
授業外学修 (事前学修)	毎回	毎回、教科書の対象範囲を一読し、専門用語の意味などをあらかじめ調べておく。(毎週2時間程度)									
授業外学修 (事後学修)	毎回課題を出すので、それを解いて演習してほしい。 (毎週2時間程度)										
成績評価方法・ 評価比率・到達 目標との対応				成績評価	方法			評価比率	_	達目標との対応	
	課題		を中の能!	度・質疑	• 発言等	<u>=</u>)	30	9% 9% 9%	① ② ③	② ④ ④	
成績評価基準	秀優良可:	秀: (評点 90 点以上) 到達目標を極めて高い水準で達成している場合 優: (評点 80 点~89 点) 到達目標を高い水準で達成している場合 良: (評点 70 点~79 点) 到達目標を一定の水準で達成している場合 可: (評点 60 点~69 点) 到達目標を最低限の水準で達成している場合 不可: (評点 60 点未満) 到達目標に達していない場合									
教科書		栢木厚著(2024)『令和 07 年 かやのき先生の基本情報技術者教室』技術評論社 ISBN-13 : 978-4297145347									
参考文献	必要	必要な資料は、適時配布する。									
その他	合格 初 教	本講義は、教員免許(情報)を取得して実際に高校教育で必要な知識や、教員採用試験に合格できるレベルで指導を行う。 初回から、ノートパソコンと LAN ケーブルを必ず持参すること。 教職の必修科目であるので、五分の四以上の授業出席を単位取得要件とする。 所定の講義回数を超える欠席については単位を授与しない。									